



SEIKI LINK
—つなぐ想い、ひろがる未来—

中学校通信 第1号

令和8年5月30日（土）発行

文責 福島成蹊中学校・高等学校

中高一貫コース 中学1・2・3学年

向暑の候、日頃から本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

明治維新に始まる廃藩置県により、1876年（明治9年）に、旧福島県・磐前（いわさき）県・若松県が合併し現在の福島県が誕生してから、今年で150周年を迎えます。同時に、2011年に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故発生から15年という節目の年となります。大人の私たちには誰しもが経験したことがある震災も、今年の入学生を迎えることで、震災以前に生まれた「中学生」は誰一人いなくなりました。15年という月日は、復興への歩みと同時に、忘れてはならない記憶の風化が進むことにもつながっているのだと改めて痛感しています。

私自身、福島に生を受け、福島で育ち、学び、家族を持ち、働いてきました。教壇に立つ中で、「都心に比べて福島には何もない」と子どもたちが思ってしまうのではないかと危機感を抱いたのはごく最近のことです。しかし、自分自身の学び舎（故郷）である福島という「ルーツ」に誇りを持つ機会を提供することは、子どもたちに「夢・希望・未来」を示す道標となるという教育の意義を体現する一助になるのではないかと考え、今年から新企画「世界に誇るFプロジェクト」を立ち上げました。さらに、本校の教育プログラムを“時代・次代を先取りした”ものにグレードアップすべく、様々なプログラム改革を実施していく予定です。

こうした取り組みを保護者の皆様と共有し、学校⇄保護者⇄生徒とそれぞれの想いを繋ぎ、そして未来へと繋げたいという願いを込めて、中学校1・2・3学年の近況を報告する中学校通信「SEIKI LINK」を発行することになりました。月に1度、学校行事や生徒たちの様子などをご報告させていただきますので、是非ご一読いただけると幸いです。

（主幹教諭 石澤直樹）

強 歩 —福島市歴史探訪—

5月23日、猛暑や熊被害を考慮し、規模を縮小し実施しました。前日まで荒天で天候が心配されましたが、当日は涼しさを感じる丁度良い気温と、晴れやかな天気という絶好の強歩日和となりました。

福島城跡や福島駅を訪れ、城下町から現代都市へと発展してきた福島市の歴史や都市計画について学びました。県庁通りに見られる城下町のクランク型の街道構造の名残や、福島市の各所にある地下道を歩きながら、これまでの福島の街づくりに思いを馳せました。さらに、稲荷神社や古閑裕而記念館では、地域に受け継がれてきた信仰や文化、市民の誇りについて学び、「市民の精神文化」という視点から福島を見つめ直しました。毎年開催される例大祭による地域のつながりや、街を走るメロディーバスの音色に、新たな側面を見出すことになりました。

各地点では、生徒たちが熱心に説明を聞き、メモを取る姿が見られました。今回の研修を通して、普段見慣れている景色の中にも歴史や人々の思いが息づいていることに気づき、福島への理解を深める契機となりました。



世界に誇るFプロジェクト〔第1弾〕

ー日本と福島を取り巻くエネルギー安全保障ー



世界に誇るFプロジェクト

ふくしまから、未来の当たり前をつくる。

5月22日、中学生3学年と、高校生1学年で、水素エネルギー研究フィールド、道の駅なみえ、新地発電所、水産資源研究所を訪れ、研修をおこないました。

東日本大震災と福島第一原子力発電所事故は、私たちにエネルギーの在り方を根本から問い直させました。安全性、安定供給、環境への配慮、そして地域の復興。

これらを同時に実現することは容易ではありません。しかし、その困難な課題に真正面から向き合っているのが福島です。震災からの復興を進めながら、新しいエネルギー社会の実現を目指す福島の挑戦は、日本全体の未来とも深く結びついています。

今回の研修で生徒たちは、その挑戦の現場を目の当たりにしました。安定した電力供給を支える発電の現場では、社会や産業を止めないための責任と技術の重みを学びました。そして、その先には、再生可能エネルギーを活用して水素という新たなエネルギーを生み出そうとする取組みがあります。エネルギーを海外に依存するだけでなく、自ら創り出し、未来へつなげようとする発想は、日本のエネルギー安全保障を考える上で大きな意味を持っています。

さらに、エネルギーの問題は発電所や研究施設の中だけで完結するものではありません。その恩恵を受ける地域の暮らしや産業と結びついて初めて、その価値が生まれます。水産資源研究所での学びは、そのことを強く実感させるものでした。震災によって大きな被害を受けた海と水産業の発展に向けた研究は、地域の産業を支え、人々の生活を守り、未来への希望を育む営みでもあります。エネルギーの安定供給、環境との調和、そして地域産業の復興は、それぞれが独立した課題ではなく、持続可能な社会を支える一つの大きなテーマとしてつながっているのです。



県北陸上大会

5月12、13日に総合運動部が県北陸上大会に参加しました。入賞などはありませんでしたが、自己ベストを更新した選手が多くいました。大会会場では仲間の応援やマナーを大切にする行動、元気な挨拶などよくできていました。



《連絡事項》

- 6月1日（月）～6日（土）は夏服への衣替えとなるため、フォーマルでの登校となります。
- 6月4日（木）に国際理解教育講演会があります。
- 6月5日（金）に歯科検診があります。詳細は後日発行される保健だよりにてご確認ください。
- 6月5日（金）、6日（土）に保護者面談があります。日程のご確認をお願いいたします。
- 6月9日（火）、10日（水）、17日（水）に中体連県北大会（卓球）があります。詳細は別紙にてご確認ください。
- 6月12日（金）に避難訓練があります。
- 6月29日（月）、30日（火）は1学期期末考査となります。1週間フォーマルでの登校となります。